

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	国道211号（第1工区）	事業区分	一般国道	事業主体	北九州市
起終点	自：北九州市八幡西区上の原三丁目 至：北九州市八幡西区町上津役西四丁目	延長	1.7km		

事業概要

一般国道211号は、本市西部を南北に貫き、直方市方面へ至る国道200号へ続く重要な幹線道路である。この路線は、貨物車を中心とした通過交通と沿道住宅からの発生する交通が集中する、副都心黒崎と国道200号直方バイパスを結ぶ2車線道路である。

事業の目的、必要性

当該路線は、平成15年4月に国道200号の指定区間振り替えに伴い補助国道となった。これまでも、交通の円滑化を図るため、部分的な交差点改良事業などが直轄事業として実施されてきたが、当区間の2交差点においては、朝ピークの渋滞長が410m、670mと渋滞が慢性化しており、事業の継続、事業効果の向上を図るため、平成16年度から4車拡幅整備に事業着手する。

全体事業費	199億円（65億円）		計画交通量	30,400台/日	
費用対効果 分析結果	B/C	1.5	総費用	206億円	基準年
			（事業費：134億円 維持管理費：4億円）	（走行時間短縮便益：198億円 走行費用減少便益：5億円 交通事故減少便益：4億円）	平成15年

事業の効果等

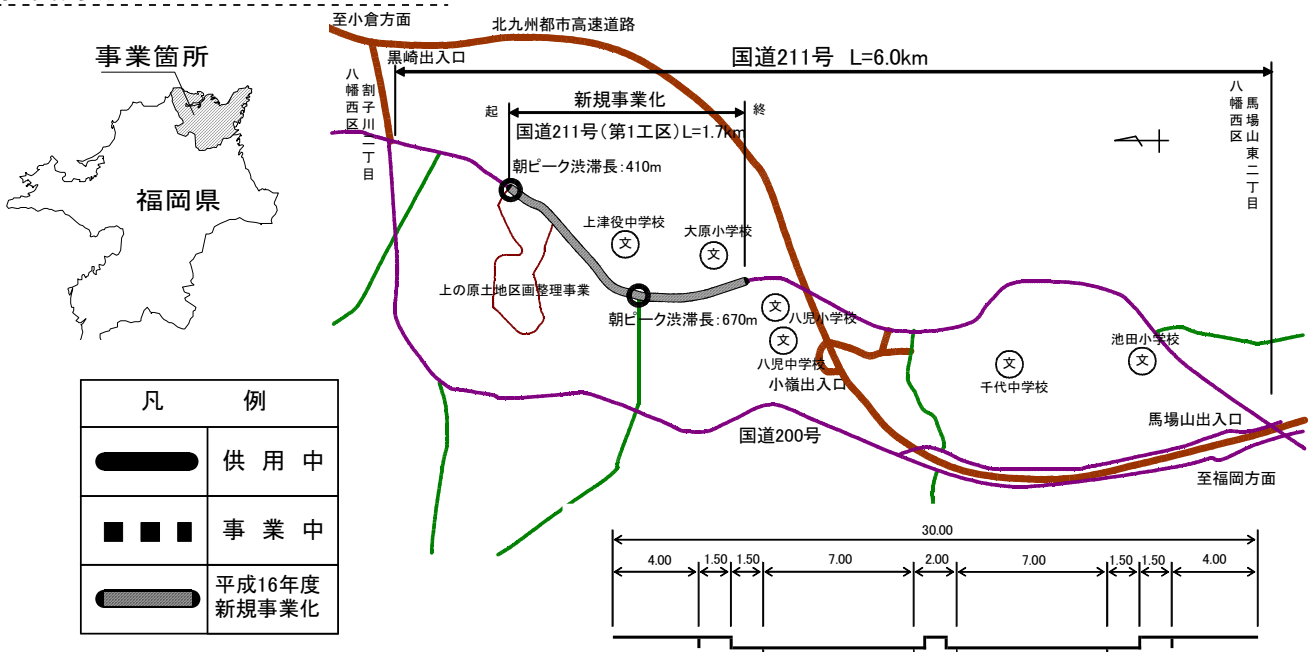
- ・円滑なモビリティの確保（利便性の向上が期待できるバス路線がある）
- ・都市の再生（上の原土地区画整理事業との連携あり）
- ・国土地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセスが向上する）

他2項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

平成15年2月及び平成14年12月の市議会本会議にて拡幅整備についての質問あり。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。